PHILIPS

色温度による空間雰囲気の違い

3000Kの場合

3000Kの場合のイメージ画像

4000Kの場合

↑ Philips MASTER LEDtube 4000K

5000Kの場合

5000Kの場合のイメージ画像

2700K	4000K	6500K
温かみのある白色	ニュートラルな白色	青みがかったクールな白色

落ち着いた雰囲気の空間をつくる、電球色に近い低色温度の空間。リラックスしてじっくり話を詰めたいときや、相手と打ち解けて話たいときに有効です。

バランスのよい白色光が快適な仕事環境をつくります。

例えばPCのディスプレイ。
ブライトネスやコントラストに加え、色温度も調整できるディスプレイがあります。その場合、目の疲れを感じた時には、色温度の設定を低くするとよいと言われています。

空間の照明もしかり。

クールな印象の空間は、作業効率を高めるともいわれていますが、長時間いると、目の疲れや気分的な疲労がでやすいともいわれます。